

事例紹介

高品質なチョコレートとココア製品のリーディングカンパニー

提供するサービス：統合・合併

セクター・業種：Food Processing and Manufacturing



国際的な食品加工会社2社の合併を促進したこと

顧客

イタリアに本社を置くABCグループは、高品質なチョコレートとココア製品を製造する世界有数のメーカーです。

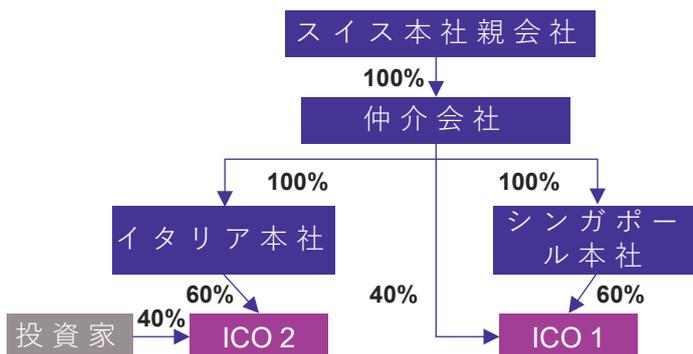
インド法人（ABC Private Limited、以下ICO 1）は、2013年にインドで設立され、高品質のチョコレートとココア製品の製造、販売、流通を行う会社です。当社は、マハラシュトラ州に工場を設立していました。

本社レベルの買収により、インドに子会社を1社追加しました（ICO 2）。

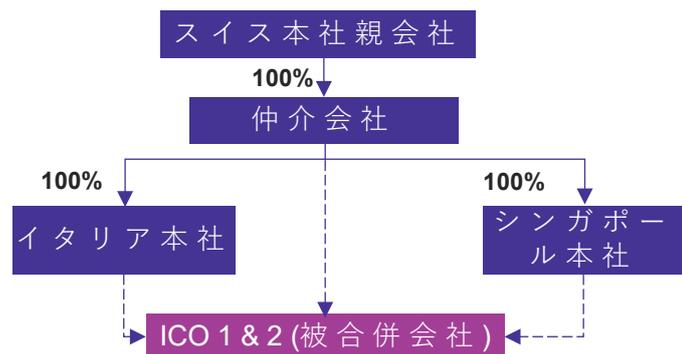
事例ハイライト

- 少数株主の退出を促すための合併前株式取得
- グリーンフィールド社の設立に関わる規制当局への助言と合併開始前の中間資金援助
- 税務上の要件を満たす適切な株式保有構造を維持するためのアドバイス
- 少数株主の退出、グリーンフィールド事業の立ち上げ、優遇措置のための産業界省への支配権変更、合併等に関する税務・規制上のアドバイスを提供
- 合併後の持株比率を考慮した両社の株式価値評価
- 合併と合併後の株式資本の統合を登記簿上の記録としてシームレスに締結することが可能

現在の構造



構成案



背景

ICO 2の株式の40%は、イタリア政府が出資する投資ファンド（少数株主）が保有していました。グループはインドで大規模な事業拡大を計画しており、少数株主の撤退と、事業の一本化を意図していました。

Nexdigmは、与えられた時間枠の中で、グループの希望する事業再編プロセス全体をエンドツーエンドでアドバイスし、プロジェクトマネジメントするよう依頼されました。

当社の取り組み

このプロジェクトにおけるNexdigmのアプローチは、プロジェクトマネジメントの4つの柱に基づいています。時間、コスト、品質、リスクです。この案件の主な要件は、現状を把握し、事業再編のためのロードマップを構築することでした。専門のプロジェクトチームが任命され、複雑な規制の絡みと、猛威を振るうパンデミック(コロナウイルス)という現実的な課題を伴うプロジェクトをリードしました。

コロナウイルスによる制約を受けながらも、グループ経営陣やインド経営陣などのステークホルダーと密接に連携し、リモートワークを行いながら、スケジュール遵守を徹底しました。

プロジェクトマネジメント支援

Nexdigmは、プロジェクトの立ち上げから会社合併まで（そして合併後の統合まで）、いくつかのフェーズにわたってサポートを提供しました。チームは、以下の領域でプロジェクトを管理しました。

初回アドバイザー：

Nexdigmは、イタリアの弁護士が作成した株式売買契約書のレビューや税務・規制に関するアドバイスを行い、少数株主への効率的な撤退方法について助言しました。その後、工業団地からの土地の取得、国から付与されるパッケージ・

スキームのための産業局との支配権の変更更新、最適な中間資金調達の方法、およびそれらに関連する税務・規制上のアドバイスなど、グリーンフィールド・セットアップ関連の問題についてアドバイスを提供しました。

合併オプションの概念図：

Nexdigmは、多額の損失を抱えている別のグループ会社の合併を構想しました。合併という選択肢は、税務と規制の観点から利用可能な選択肢を広範囲に評価した上で、最終的に決定されました。その際、税務上中立的な合併の条件、損失の繰り越しと相殺の権利、印紙税の影響、工業省、産業開発公社、食品安全基準の認可要件など、その他の規制の影響も検討しました。株主の退出は、インド・シンガポール条約の利益を維持する形で行われた（グラントリング・ベネフィット）。合併のプロセスに入る前に、繰越損失を維持するために、資産の移動および稼働率に関する条件を満たすよう、工場および機械の移行を慎重に行うようアドバイスを受けました。また、合併に先立ち、社名を変更し、社名に付随する信用を維持しました。

合併手続き開始：

合併のプロセスは、株式交換比率の決定、合併スキームの作成、株主の承認、審判所への申請、債権者会議の開催、スキーム承認のための申請、会社登録機関、地域ディレクター、清算人、企業省などの規制当局からの報告書の入手、2002年競争法上の免除通知の入手、審判所からの合併の最終承認、合併後の授權資本統合、合併命令に対する印紙税の審理など多岐にわたりました。

また、合併会社の清算には、前述の規制当局への対応や、適切な方法でのフィルター情報の提出が必要でした。

Nexdigmは、既存のコンサルタントと幅広く協力し、彼らがプロジェクトの感度とタイムラインに沿うようにしました。

重要課題：

このプロジェクトでは、少数株主からの株式取得に関するインド法についてのアドバイスが必要な問題に直面しました。さらに、合併の際に繰越欠損金を利用するための条件を満たしつつ、望ましい株式保有形態を維持することも重要な課題の一つであった。また、工場や機械を他社から当社へ移管することを希望しており、繰越欠損金を利用するための前提条件を維持するために詳細な分析が必要でした。また、Nexdigmは、純資産がマイナスであるにもかかわらず、グループの支持を主張することにより、債権者集会の開催を免除することに成功しました。

Nexdigm社は、当社を代理して監督官庁からクリーン・レポートを取得し、合併の合理性、債権者の利益の保護を含む提案に関するすべての意見を満たし、本スキームが適用法令を遵守していることを表明しました。



Nexdigmは、グループのインド事業の複雑な再編成を完了させるために非常に役立ちました。Nexdigmは、少数株主への退出の提案、取引文書作成、評価、そして最も税制上および規制上の効率的な方法での合併の構想など、プロセスの最初から関与しています。このプロセスにおいて、Nexdigmの多層的なチームは、事業シナジーを確保するために、事業再編の商業的・経済的な合理性に注意を払いました。チームは組織再編のプロセス全体の重要な側面を理解し、プロジェクトマネージャーとしてすべての重要事項に関する助言を行いました。技術的、商業的な側面から総合的なアドバイスをいただき、また、当社グループの合併プロジェクトの円滑な実施にも満足し、満足しています。NexdigmのM&A税務・リストラクチャリングチームと一緒に仕事できたことは、素晴らしい経験でした。

グループファイナンスコントローラー

また、Nexdigm社は、合併の結果、追加の登録料および印紙税を支払うことなく、授權株式資本の統合に成功しました。

時間的制約のある合併プロセス：

このプロジェクトは、2022年に新しく設立される工場で生産を開始するために設定されたスケジュールで、時間的制約が厳しいものでした。

インパクト

Nexdigmの全体的なプロジェクト管理手法は、パンデミック(コロナウイルス)による複雑な状況にもかかわらず、希望するスケジュールでプロジェクトを完了させるという経営陣の目標達成に貢献しました。Nexdigmのプロジェクトチームは、パンデミックによる制限やロックダウンにもかかわらず、すべての重要な問題を適切に解決し、法律に従って、2022年3月までに合併を完了させ、経営陣の期待に応えることができました。

この仕組みにより、314万米ドルの大幅な節税が実現しました。また、ICO-2への出資者が退出する際に、シンガポール租税条約の恩恵を受けることができるように手配することができました(租税条約の恩典のグランドファザリング)。

当社のプロジェクト・マネジメント・サービスは、様々な観点からクライアントの取引完了を支援しました。このプロジェクトは、生産能力の増強と相まって、インドでの事業基盤を強化し、繰越欠損金と管理のしやすさの恩恵を受けることができるようにしました。

本事例に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

ThinkNext@nexdigm.com

また、当社のサービスがどのように具体的なビジネス効果をもたらしたかについては、当社のウェブサイトをご覧ください。

www.nexdigm.com